



だいすきいっぱい チーム愛宕



11月3日(土)晴天の下、「第47回愛宕学区文化祭」が開催されました。教室では制限のある分散型の授業参観でした。子供たちの頑張る姿を見ていただけたと思います。友達と助け合いながら学ぶ姿、黙々と課題に向かう姿、みんなの前で堂々と発表する姿...どの姿も輝いています。コロナ渦でも子供たちの学びは止めません。5,6年生は婦人自主防災部の皆様にお越しいただき、防災緊急時に役立つ三角巾の使い方を体験しました。有事の際は、高学年の子供たちが大きな力となります。

前日には、全校児童が学級ごとに作品鑑賞をしました。様々な絵画、書、作品、写真、お宝が並び、子供たちは思い思いに鑑賞しました。中でも、手まわし蓄音機を教頭先生の解説で聞いている姿は印象的でした。日本刀にも興味を示していました。実際に持ってみると「意外と重い」との感想でした。本物は危険ですので当日のみの展示となりました。

11時からはPTAイベント「大空へ ゆめをのせて」のバルーンプロジェクトでした。代表児童の進行で「5,4,3,2,1、とんでけ〜」と全員で声をかけ、それぞれの思いをのせた風船が大空へ高く飛んでいきました。風船をいつまでも見届けている子供たち。しっかりと思いが届いたことでしょう。感動的なシーンでした。体育館では14時まで子ども会主催のワークショップが続き、防犯リースづくり、ダンボール輪ゴム鉄砲作り、サクソ生演奏と盛りだくさん。文化の香りのする一日となりました。学区の多くの皆様のご協力により実施できました。ありがとうございました。

